

Q. 男女比はどのくらいですか？

A. 男子 65%、女子 35%ぐらいの割合です。比較的男子が多く在籍していますが、男女を問わず意欲と情熱のある学生が活躍しています。

Q. 演習（ゼミ）は必ず履修しなくてはいけませんか？

A. 演習（ゼミ）を履修しなくても卒業できますが、毎年多くの学生が履修を希望しています。演習では少人数で授業が進められ、自らが選択した研究テーマに沿って主体的に調査・研究・発表をします。

Q. 就職活動のサポートはありますか？

A. 経営学部では専門教育科目にキャリアプログラム科目を用意しています（P. 5 を参照）。また、法政大学の「キャリアセンター」では求人情報を提供し、就職の相談を受け付けています。卒業生の情報も閲覧でき、OB・OG 訪問に活用できます。さらに、模擬面接や就職セミナーも開いており、1・2年生向けのイベント

とも多くあります。入学後は積極的に参加してみてください。

Q. サークルにはみんな入りますか？

A. サークルに入る学生は多いですが、他にもゼミに打ち込んだり資格試験にチャレンジしたり皆それぞれです。4年間で何か力を注げるものを見つけてみてください。



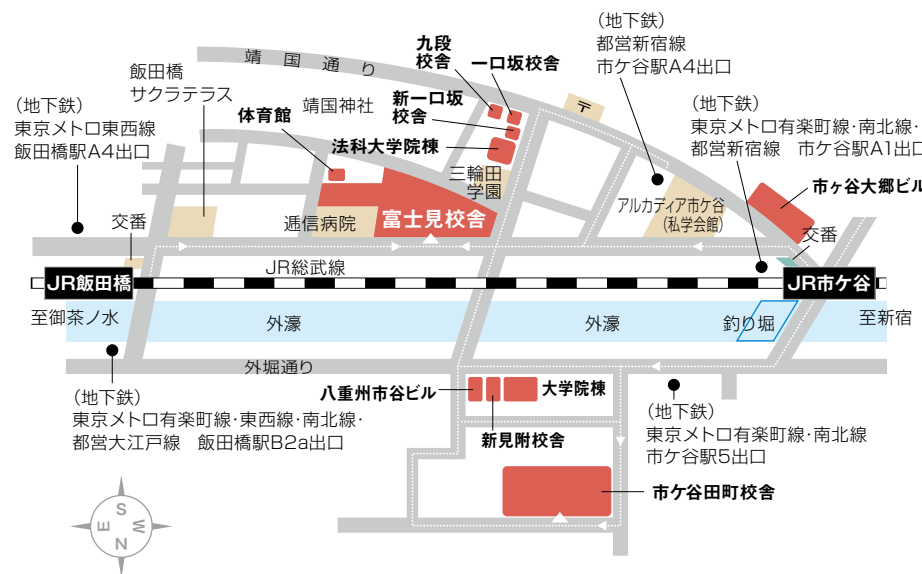
ACCESS

【JR線】

- 総武線：市ヶ谷駅または飯田橋駅 下車徒歩7分

【地下鉄線】

- 都営 新宿線：市ヶ谷駅 下車徒歩6分
- 東京メトロ 有楽町線：市ヶ谷駅または飯田橋駅 下車徒歩7分
- 東京メトロ 東西線：飯田橋駅 下車徒歩7分
- 東京メトロ 南北線：市ヶ谷駅または飯田橋駅 下車徒歩7分
- 都営 大江戸線：飯田橋駅 下車徒歩7分



法政大学 経営学部

FACULTY OF BUSINESS ADMINISTRATION

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
TEL 03-3264-9332 <http://www.hosei.ac.jp/>

<https://www.facebook.com/HoseiKeiei>

入試の詳細については、
大学案内をご覧ください。



経営学部

経営学科

Department of Business Administration

経営戦略学科

Department of Business Strategy

市場経営学科

Department of Markets and Management



Faculty of Business Administration

その先の自分を創る。

経営学部と一緒に学びましょう

皆さんは、経営学部の勉強では「正解がない」ことがあると聞いたらビックリしますか。

例えば、ビジネスプランニングや意思決定では、分析の視点が異なれば、結論も違ってきます。

とは言え、好き勝手に適当な答えを導くものではありません。これまでに確立された経営学の学問体系、理論を理解し、活用することにより、市場での成功確率を高めるのです。

そういう意味で理論を学ぶことはとても重要です。

なんだか難しそうだと尻込みしたくなった人もいるかも知れませんが、皆さんが日ごろ見たり、聞いたりしている企業の活動を通して勉強できるので、より身近な問題として捉えることができます。

ディズニーランドは、どうして30周年を過ぎた今でも人気が高いのか。

いつもweb検索で利用しているGoogleはどのような世界戦略を立てているのか。

なぜUNIQLOのヒートテックはヒットしたのか。

興味を持てば、面白くてワクワクするテーマがたくさんあって、きっと勉強が楽しくなると思います。

1959年に設立され、歴史と伝統のある法政大学経営学部で、最新のテーマと一緒に学びましょう！



経営学部 学部長
竹内 淑恵



経営学部の特徴

伝統に基づく教育環境

1959年の創設から50年以上にわたって数多くの人材を社会に輩出してきました。その間に在籍した教員・在学生の経験に基づく様々な工夫の蓄積が現在の充実した教育環境を支えています。こうした継続的な研究・教育の実績は社会でも高く評価されていて、学部の原動力の一つとなっています。

ニーズに対応した3学科体制

近年の経営を取り巻く環境はダイナミックに変化しています。本学部では伝統的な分野を扱う経営学科に加えて、新たな学問領域を扱う経営戦略学科と市場経営学科との、3学科体制となっています。これにより柔軟で現代的な学問体系に即した教育体制を実現しています。

都心キャンパスでの4年間

経営学部のある市ヶ谷キャンパスは東京の都心部に位置しています。都心でのフィールドワークを通じて企業の活動を観察できることは大きなメリットです。こうした立地上の長所は、就職活動やサークル活動など、学習活動以外にも様々な面で恩恵をもたらしています。

学部の概要

経営学科・経営戦略学科・市場経営学科

学びの特色

1・2年次より経営学の専門基礎科目を学習

グローバルな視点から学ぶ外国語経営学科目

2年次より演習(ゼミ)が選択可能

経営学科

経営学の基礎から組織、人事、会計などを習得し、企業経営に貢献できる人材を育成

経営学科では、経営組織・情報、財務会計・管理会計、人事・労働問題等の領域を軸とした専門教育が展開されます。コーポレート・ガバナンス、グループ経営、会計基準のグローバル化など、新たな企業経営上の重要課題の解決が求められる時代に、その解決の中心となれる人材が必要とされています。これに対して本学科では、経営に関する基本能力を修得すると同時に、組織のマネジャー層として必要な管理運営能力や会計、人事、総務、営業など企業の様々な分野において即戦力として活躍できる能力の育成を目指します。

市場経営学科

経済や経営の構造変化に対応し、専門性の高いマーケット創造を担える優れた人材を養成

市場経営学科では、マーケティング、イノベーション、ファイナンス等の領域を軸とした専門教育が展開されます。近年、メーカーや流通企業が金融業に進出したり、ITを活用した多様なビジネスモデルが広がっていますが、そうした分野で活躍できる人材の不足も指摘されています。これに対して本学科では、個別の市場ごとに顧客ニーズを研究し、産業構造と企業経営の変化に対応しつつ専門的なマーケットの創造を担う人材としての必要な能力の修得を目指します。

経営戦略学科

経営の国際化を見据え、グローバルな戦略策定と事業創造に力を発揮する人材を育成

経営戦略学科では、経営戦略、国際経営、経営史、国際経済、経営分析等の領域を軸とした専門教育が展開されます。近年、日本企業の国際戦略の立ち遅れや、創業の停滞が指摘されています。こうした問題を解決するには、国際的・歴史的な視点や的確な分析ツールで、新たな企業活動を切り開いていくことが必要とされます。これに対して本学科では、グローバルな視点から各種の事業分野でビジネスの創業と再構築をリードする人材として必要な戦略発想の育成を目指します。

経営学と経済学の違い

経営学も経済学もビジネスのしくみや現実の経済現象を分析の対象としています。

経済学 (Economics) は、社会全体の効率的な資源配分の在り方を学ぶ学問です。異なる立場に立つ企業・消費者・政府の間でバランスが良く効率的な配分を達成するために必要な制度・ルールについて考えます。

一方、経営学 (Business Administration) は、企業の視点に立って、企業を正しく運営していくための組織の在り方や意思決定の方法を学びます。

現実に行き起きている経済現象やビジネスのしくみを理解するためには、経営学と経済学のどちらも学ぶ必要があります。法政大学経営学部では、経営学だけでなく、経済学の科目も豊富に用意していますので、多角的に幅広く学ぶことが可能です。



経営学部のカリキュラムおよび卒業所要単位

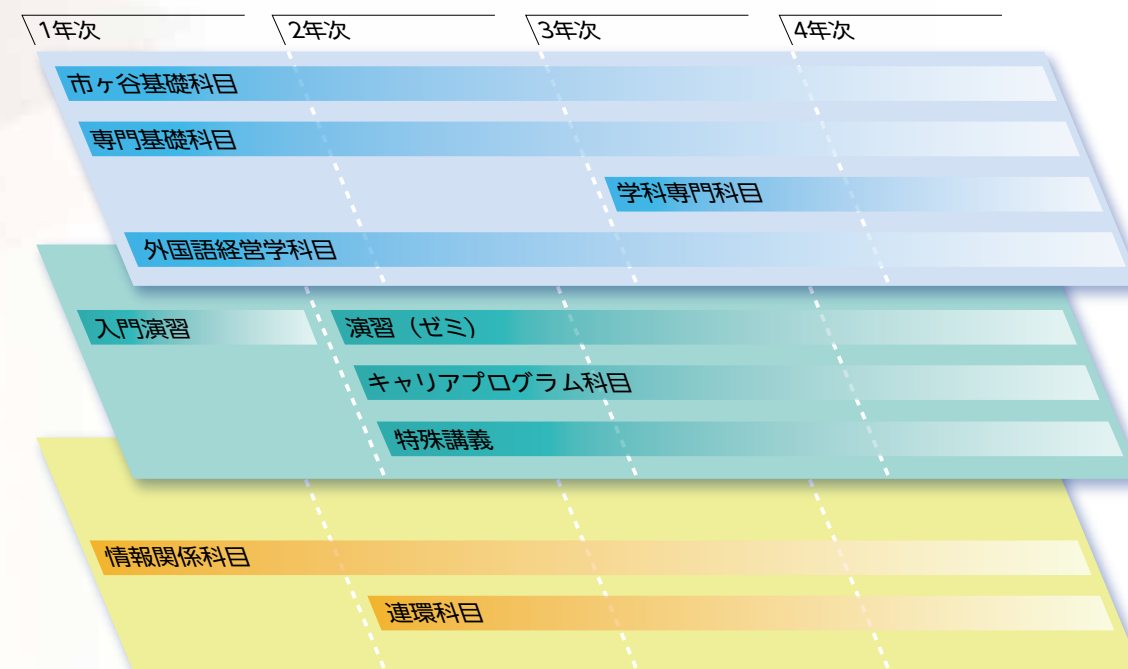
(注)ほとんどの科目は、セメスター制でⅠ(春学期)・Ⅱ(秋学期)に分かれていますが、下表では科目名に付くⅠ・Ⅱの区分を省略しています。各科目は特記のない限りⅠ・Ⅱを合わせて4単位です。※カリキュラム表および科目名は変更になる場合があります。

	1年次	2年次	3年次	4年次
市ヶ谷基礎科目 (44単位)	0群～5群 (4群・5群は3年次までに履修)			
専門基礎科目A群 (8単位以上)	経営学総論 簿記入門 ミクロ経済学入門 情報科学実習 (Ⅰ・Ⅱ年次)			
専門基礎科目B群 (12単位以上)		経営管理論 会計学入門 経営戦略論 基礎統計学 マーケティング論 金融論		
経営学科専門科目 (経営学科生は16単位以上)			経営組織論 組織認識論 経営情報論 情報と倫理 (2単位) 情報と職業 組織経済学	組織行動論 人的資源管理 経営社会学 国際人事論 人材育成論 財務会計論
経営戦略学科専門科目 (経営戦略学科生は16単位以上)			国際経営論 国際経済論 国際金融論 戦略的意思決定論 国際経営戦略論	中小企業論 日本経済論 日本経営史 産業史 経営分析
市場経営学科専門科目 (市場経営学科生は16単位以上)			マーケティング・リサーチ 消費者行動論 流通論 サービス・マネジメント論 産業組織論 日本経営論	製品開発論 情報技術論 技術管理論 証券経済論 企業財務論 ファイナンス論
外国語経営学科目 (16単位以下)	入門外国語経営学	ビジネス英語	外国語経営学	
キャリアプログラム科目		国際コミュニケーション論 SA認定科目	キャリア・マネジメント 検定会計 インターンシップ	
特殊講義	時事問題に対応したテーマ (専門分野) の講義を設定			
演習	入門演習	演習Ⅰ・Ⅱ (6単位以下)	演習Ⅲ・Ⅳ (6単位以下)	演習Ⅴ・Ⅵ (6単位以下)
情報関係科目	プログラミング言語	データ処理論 ネットワーク論	応用プログラミング	
連環科目 (4単位以上20単位以下)		民法 会社法 労働法 総合科目 公開科目 ESOP (交換留学生受入れプログラム)		

※卒業所要単位 合計**132**単位以上

カリキュラム

1・2年次には語学などの教養科目や経営学の基礎科目を中心に学び、3・4年次には学科ごとに分類された専門科目を中心に学びます。その他にも、キャリアプログラム科目や特殊講義など多彩な選択科目群の中から自分の興味や関心に合わせた講義を履修することが可能です。また、こうした講義科目と並行して1年次に行う入門演習、2年次以降に行う演習を通してゼミ活動を経験することができます。



経営学科

経営学科では、経営に関する基本能力を修得すると同時に、組織のマネジャー層として必要な管理運営能力や会計、人事、総務、営業など企業の様々な分野において即戦力として活躍できる人材の育成を目指します。



専任教員と専門領域

稲垣 保弘 教授	経営管理論、経営組織論	岸 真理子 教授	経営情報論、経営組織論	西川 真規子 教授	組織行動論、経済社会学
大下 勇二 教授	財務会計論	北田 皓嗣 准教授	管理会計、社会環境会計	福田 淳児 教授	原価計算論、管理会計論
小川 憲彦 教授	キャリア・マネジメント論	坂上 学 教授	財務会計、会計情報システム論	吉田 康伸 教授	スポーツ方法学、コーチング論
奥西 好夫 教授	労働経済学、組織と人事の経済学	佐野 哲 教授	経営社会学		
笠井 淳 教授	スポーツ方法学	佐野 嘉秀 教授	人的資源管理論		
神谷 健司 教授	財務会計論	鈴木 真奈美 教授	第二言語／外国語習得、応用言語学		
川島 健司 教授	財務会計論	筒井 知彦 教授	財務会計論		
河内谷 幸子 教授	情報科学	長岡 健 教授	組織社会学、質的調査法		

担当教員からのメッセージ

管理会計論
北田 皓嗣 准教授



みなさんはこの1年の間に、どんなことを計画していますか？旅行の計画、部活動の計画、勉強の計画、もしくはお年玉の使い方の計画を立てているかもしれません。しかし一方で、これまでの学校生活のなかで、個人の体験や工夫を越えて、「計画」を立てるための方法について身につける機会はあまりなかったのではないのでしょうか。

管理会計の授業では、プランニング&コントロール、つまり計画を立てて組織を動かしていくための会計について学習します。会計と聞くと、計算や専門用語ばかりが出てきて、退屈で、少し地味な印象を受け

るかもしれません。実際に会計の勉強では我慢が必要な場面も少なくありません。しかし企業だけでなく、病院でも、大学でも、組織を運営していくうえで、お金の管理が必要になります。組織のなかでお金の管理をするにはコツがいります。そういったコツは、会計知識を身につけることで磨かれます。計画を立てる方法もそのひとつです。

組織のなかで誰かがこうした知識を身につけている必要があります。だから会計の知識を身につけることは、人の役に立つチャンスにつながりますし、あなたの人生の可能性も広がります。

ゼミ紹介

福田ゼミは、企業内で行われる様々な意思決定や業績管理のために、会計情報がどのように利用されているのかについて研究するゼミです。

3年生の春学期は、管理会計に関する基本的なテキストをみんなで輪読します。さらに、少しでも現実の企業の状況を理解するために、実際の企業の事例または新聞記事などを利用し、テキストで学習した内容が実務でどのように利用されているのかを議論します。毎年12月には、管理会計をテーマとして学習している5大学7ゼミナールで報告・討論会を行っています。このために、秋学期には、本ゼミでも2チームをつくり、各チー

ムでテーマを決め、文献のレビューや調査を行います。

2014年度は中小企業の設備投資についてのアンケート調査を行うとともに、大学生協の書籍部へ戦略的な業績評価システムの導入を行いました。

4年生になると、各自個別の研究テーマを選定し、これまでに学習した成果に基づいて、各テーマについて調査・研究を行います。

福田 淳児ゼミナール

研究テーマ

企業における会計情報の利用



在校生からのメッセージ



経営学科4年 相澤 佑美

法政大学は、学ぶことの楽しさを実感し、自分のやりたいことに挑戦するには非常に恵まれた環境だと思います。

私は、組織行動論を受講し、自分が所属するゼミやアルバイト等の組織に置き換えて、組織の現状、改善策を考察することで、学習の楽しさを感じました。また、組織のパフォーマンス向上には、働く人のモチベーションが大きく関係することを学び、人事や人の教育について強く関心を持つようになりました。

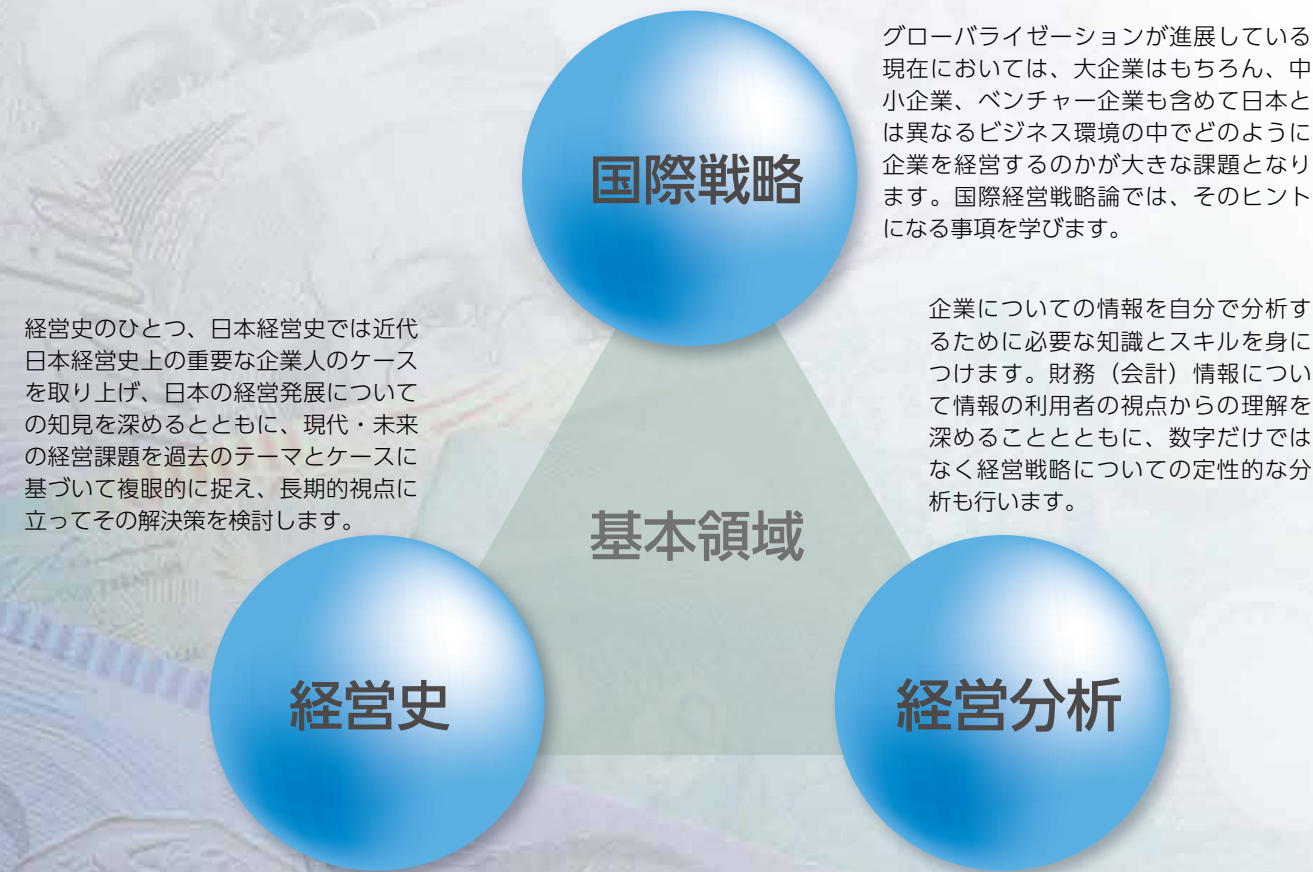
法政大学では、先生や職員の方々が、

手厚く私たち学生のサポートをしてくれます。学習面や進路等の相談にのってくれるので、成長のきっかけをつかめます。

大学生生活では、自分次第でどんなことにも挑戦でき、多くの出会いが待っていると思います。私は、経営学部SAプログラムに参加したことで、10か国以上の国の人々と知り合い、自分の世界が大きく広がりました。皆さんも、法政大学で様々な経験によって自分自身の世界を広げ、素敵な大学生生活を送ってください。

経営戦略学科

経営戦略学科では、グローバルな視点から各種の事業分野でビジネスの創業と再構築をリードする人材として必要な戦略発想の育成を目指します。



経営史のひとつ、日本経営史では近代日本経営史上の重要な企業人のケースを取り上げ、日本の経営発展についての知見を深めるとともに、現代・未来の経営課題を過去のテーマとケースに基づいて複眼的に捉え、長期的視点に立ってその解決策を検討します。

グローバル化が進んでいる現在においては、大企業はもちろん、中小企業、ベンチャー企業も含めて日本とは異なるビジネス環境の中でどのように企業を運営するのかが大きな課題となります。国際経営戦略論では、そのヒントになる事項を学びます。

企業についての情報を自分で分析するために必要な知識とスキルを身につけます。財務（会計）情報について情報の利用者の視点からの理解を深めることとともに、数字だけではなく経営戦略についての定性的な分析も行います。

専任教員と専門領域

安藤 直紀 教授	国際経営戦略	福島 英史 教授	戦略的意思決定論
稲垣 京輔 教授	経営組織論、事業創造論、中小企業経営論	福多 裕志 教授	意思決定会計
児玉 靖司 教授	経営情報学	藤澤 利治 教授	産業史
佐藤 陽子 教授	応用言語学・英語教育・英文学	洞口 治夫 教授	国際経営論
鈴木 武 教授	計量経済学	八重倉 孝 教授	企業の分析と評価、財務会計
高橋 理香 教授	国際経済論	横内 正雄 教授	国際金融論
豊田 敬 教授	統計学	吉田 健二 教授	経営戦略論
二階堂 行宣 専任講師	日本経営史、日本経済史	ラセガード・ジェームス 教授	教育社会学
平田 英明 教授	日本経済論	李 瑞雪 教授	ロジスティクス論、経営戦略論

担当教員からのメッセージ

国際経済論

高橋 理香 教授



日本では、私たちは様々な外国産の製品を購入することができます。また、日本の様々な製品は、多くの外国で売られています。日本がどのような製品をどの国に対してどのくらい売り、また何をどの国からどのくらい買っているか、皆さんはご存知ですか？また、皆さんの中には、いつか海外に留学したい、将来は海外で働いてみたい、と願っている人もいるでしょう。自国や外国の製品を国内外で売買し、外国との様々な交流を通じて得られる利益とはどのようなものでしょうか？また、もし不利益があるとしたら、どのようなことがあるでしょうか？

経済学では、「より良い製品がたえず導入され、適切な価格で取引されるのが質の高い市場だ」との考え方があります。国際経済論の授業では、この考えに基づき、国と国の取引を通じて、より良い製品やサービス、お金、労働などがたえず導入され、適切な価格で取引される質の高い市場を形成する仕組みがあるかどうか、議論していきます。近年注目されているTPPの交渉の善し悪しについても、経済学の考えに基づいて、客観的な分析手法を用いて議論することで、深いレベルで考え、判断できるようになると思います。

ゼミ紹介

稲垣京輔ゼミでは、ベンチャー企業の創業、中小企業、大企業における新事業創造や経営改革、あるいはソーシャルビジネスやNPOの活動も含め、組織やチームの作り方、そして事業モデルについて学びます。経営者やリーダーの視点からの行動について理解を深めることが目的で、多様なビジネス環境の中で、どのように新たな視点を導入し、そしてどのような困難に直面し、経営資源を獲得し、困難を克服するのかについて、比較検討します。

ゼミの進め方は、2・3年生はグループワークが中心です。前半ではテキストを題材としたグループ・ディスカッション、後半では各

班が設定した課題やテーマについて研究報告を行います。また、サブゼミを開催し、分析ツールとなる理論、そしてプレゼンする方法について補足的な学習をします。4年生は、ゼミとサブゼミの運営を統括するとともに、個人の関心あるテーマを絞り込み、卒業論文を作成します。

稲垣 京輔ゼミナール

研究テーマ

中小企業、ベンチャー企業の事業戦略と組織に関する研究



在校生からのメッセージ



経営戦略学科4年 平野 睦

法政大学は学生の自主・自律を尊重し、主体性のある学びができる場所です。私が所属する経営戦略学科では、主に国際的な視野に立った経営戦略論や国際経営など、現代のグローバル化に重点をおいた経営学を学ぶことができます。これからは新興国の経済発展、世界人口の増加などにより「人、モノ、金、情報」が日本を超えて、より世界に流動化していきます。そのような時代で生きていく私達が、グローバル化に伴う時代の変化に対応し、世界で活躍するための知見や能力を得ることがで

きる学科です。授業以外での活動に関しては、多くの留学プログラムや、部活動、サークルがあり、それぞれの目的にあった活動を通じて充実した日々を過ごせます。法政大学を目指す皆さんには、主体的に考えて行動してほしいと思います。大学生活では全てにおいて今まで以上に自由が広がります。皆さんが法政大学で、その自由を無駄にせず、自身がやりたい事をきちんと考えながら充実した日々を過ごせることを祈っています。

市場経営学科

市場経営学科では、個別の市場ごとに顧客ニーズを研究し、産業構造と企業経営の変化に対応しつつ専門的なマーケットの創造を担う人材として必要な能力の修得を目指します。



専任教員と専門領域

池田 宏一郎 教授	数学	田路 則子 教授	製品開発論	演習（ゼミ）担当教員
石原 紀子 教授	英語教育、語学教員養成	中田 和秀 教授	物理有機化学、計算機化学	小川 孔輔 教授 大学院イノベーション・マネジメント研究科
大木 良子 准教授	産業組織論、法と経済学	新倉 貴士 教授	消費者行動論	永野 則雄 教授 大学院イノベーション・マネジメント研究科
岸本 直樹 教授	ファイナンス	西川 英彦 教授	マーケティング・リサーチ論	藤村 博之 教授 大学院イノベーション・マネジメント研究科
木原 章 教授	生物情報学、細胞生理学	入戸野 健 教授	計算機科学、計算機統計学	
金 珞晋 教授	ファイナンス	長谷川 翔平 専任講師	マーケティング・リサーチ	
金 容度 教授	日本経営論	林 直嗣 教授	金融論、理論経済学・応用	
木村 純子 教授	サービスマネジメント論		計量経済学、経済政策	
倉田 俊彦 教授	数学	宮澤 信二郎 准教授	企業金融論・産業組織論	
近能 善範 教授	技術管理論	山寄 輝 教授	ファイナンス	
竹内 淑恵 教授	マーケティング論			

担当教員からのメッセージ

技術管理論

近能 善範 教授



「技術管理論」は、ごく簡単に言えば「技術をてこにした経営戦略論」について学ぶ科目です。技術を利用しつつ、顧客にとって価値のある、新しい製品やサービス、あるいは新しいビジネスの仕組みなどを創出し、新たな需要や市場を創造していくためのマネジメントを具体的なケースを交えながら学んでいきます。

例えばアップルの初代iPhoneは、スマートフォンの先駆けとなった優れた製品であり、数多くの先端的技術が用いられていましたが、それだけが成功の秘訣ではありません。余計な機能や装飾が極限まで削ぎ落とされ、デザインに優れていただけで

なく、使いやすさも際立ち、音楽や動画、映画などを安く手軽に購入し、すぐに楽しむこともできました。さらに、製品のメリットを印象的に伝える優れた広告を発信し、多くの消費者に「買いたい！」と思わせることに成功しました。このように、新たな顧客価値や市場を創造していくためには、優れた技術を活用するだけでは不十分で、より広い視野に立った戦略的なマネジメントが必要とされるのです。

この授業では、こうした技術や社会に関わる先端的な話題を扱っていくことになるので、学生の皆さんから教わることも非常に多いです。ぜひ、一緒に学んでいきましょう。

ゼミ紹介

山寄ゼミのテーマは「ファイナンス」です。

ファイナンスという学問は、株式投資や外国為替トレーディングが勉強の対象になります。こうした金融取引に必勝法はないわけですが、投資対象のリスクとリターンを双方を考慮して、「最適な投資とは何か？」を考えていきます。株式や債券、デリバティブ（金融派生商品）などの価格決定メカニズムを探究することも重要な課題です。

ゼミでは、証券投資に関する書籍の輪読や最近の金融市場動向のディスカッションを行っています。また、ゼミ生の多くが金融機関への就職を志望している

こともあり、証券アナリストの資格試験の勉強や金融実務家による講演会も実施しています。

4年生は複数のグループに分かれて卒業レポートに取り組みます。

山寄 輝ゼミナール

研究テーマ

ファイナンス



在校生からのメッセージ



市場経営学科3年 伊庭 菜津美

市場経営学科では、マーケティングやファイナンスを中心に勉強することが出来ます。1年次は経営学に関する基礎を学び、学年が上がるごとに専門的な知識を身に付けていくことができます。また、経営学部には外国語経営学科目やSAプログラムなどがあり、幅広い英語学習も可能です。

私は、2年次秋学期に経営学部SAプログラムでアメリカのネバダ大学リノ校へ、16週間留学しました。現地の大学は広大な敷地の中に建てられていて、ゆっくりとした時間が流れる素敵なキャンパスでした。同じ

クラスには様々な国籍を持つ学生がいましたが、授業を通して文化の違いやそれに伴う考え方の違いを学ぶことができました。授業以外でも、クラスの友達と食事に行ったことや、先生の自宅でパーティーをしたことも忘れられない思い出です。

SAプログラム以外にも、派遣留学制度や英語強化プログラムなどの制度を利用して、経営学という専門領域を勉強しながら、英語を学ぶことができる環境が整っています。みなさんも自分のやりたいことに挑戦して、充実した大学生活を送ってください！

Career Program

キャリアプログラム

インターンシップ

毎回、企業の最前線で活躍する人々をゲストスピーカーとして招き、実際の経営の仕事について「講義」していただく授業と、それにタイアップする形で夏休みに1週間～10日程度、協力企業で実施される「研修」の2つで構成されます（選考あり）。

インターンシップ 2015年度実施企業（予定）

- ・アサヒ飲料
- ・朝日生命保険相互会社
- ・アド・エンジニアーズ・オブ・トーキョー
- ・資生堂
- ・CFSコーポレーション
- ・電通
- ・日本経済新聞社
- ・ビデオリサーチ
- ・プラットフォームサービス
- ・三井住友銀行
- ・三井不動産リアルティ
- ・弥生



研修先
(株)ビデオリサーチ

経営学科3年
長嶋 すみれ

外部の知識を吸収し、 広い視野で考える重要性を学びました

株式会社ビデオリサーチでの9日間のインターンシップで、視聴率を商品として扱う会社のデータ分析・活用方法やマーケティングについて学びました。その中でも中心的に取り組んだことは、テーマに基づき仮説を立て、調査票(アンケート)を作り、仮説を立証することです。調査をするには主観に捉われるのではなく、環境や人が変わった場合など様々な要因を考慮しなければなりません。視聴率の分析を行った際にも一つのことに縛られるのではなく、多くの可能性をひとつずつ検証していくことで新しい発見が生まれることを改めて学びました。

私は今まで、物事に取り組むとき、ある程度固まった考えで行動していました。しかし、周りから知識を吸収することで、考えの幅が広がり柔軟なアプローチができるようになりました。また、授業で学んだ経営の専門的な知識が実際にインターンシップに参加してみると、様々な場面で実践的に活用できることを実感しました。今まで机上の知識だったものがインターンシップに参加したことで、知識が現実、社会に通用することがわかり、より現在の勉強に力を入れることができるようになりました。また、自分の考えだけでなく、客観的な視野を持って活動すること、そして、そうすることにより多様なアイデアの生まれる可能性が広がることを実感しました。

Study Abroad

スタディ・アブロード(SA)

University of Nevada, Reno

ネバダ大学 リノ校 (アメリカ)



学生寮

ネバダ大学リノ校はネバダ州で最も伝統のある高等教育機関です。大学はダウンタウンから徒歩圏内にありますが、静かで治安もよく周辺の自然にも恵まれています。リノ校の英語教育機関では16週間の教育プログラムが用意されていて、英会話、ビジネス英語、アメリカ文化等様々な授業があります。その他にも大学主催のOne day trip、キャンプなどがあり充実した生活を送ることができます。

SA 体験



市場経営学科3年
田代 采

私は、入学時から英語に対する苦手意識を克服したいという思いがあり、経営学科のSAプログラムに挑戦することにしました。

私が留学したネバダ大学の英語教育機関であるIELC(Intensive English Language Center)では、ブラジル、スペインなど様々な国からの留学生が英語を学んでいました。異なる文化背景をもつ留学生たちと授業を共にし、友達となることで、コミュニケーションをとるために英語を使うことは自然なことになりました。

また、IELCには「カンパセーション・パートナー」という、私たち留学生に現地の学生を紹介してくれる制度があります。私は、この制度によって、一人の女子大生と親しくなり、彼女に英語を教えてもらったり、お家に訪問させてもらったり、一緒に買い物に行ったりと、日本にいる友達と同じように楽しい時間を過ごしました。

日本に留まっていたら、きっと出会うことができなかったたくさん人々との交流を通して、英語を話すことに対する抵抗感や恐怖心は一切なくなりました。日本に帰国した今でも、困っている外国人の方がいると駆け寄ってお手伝いしてしまうほどになりました。これは、留学前の私では考えられなかったことです。

SAを通して、英語で自分の意志を伝える難しさ、もどかしさ、楽しさを知りました。この経験から、「より詳細に自分の意見を英語で伝えられるようになりたい」、「もっと正確に聞き取れるようになりたい」と思うようになり、英語学習に対する意欲がさらに湧き上がってきました。

私にとって「留学」は大学生活の中で1つの大きな決断でした。たくさん悩んだ結果、挑戦することを決めました。何か大きな決断をする際には不安や迷いがつきものですが、少しでも興味があるのならば、何事にも一歩踏み出して挑戦してみる勇気が大切だと感じました。

2～4年次の秋学期に提携大学への留学を通して単位修得を行うプログラムです。現地では語学教育に加えて日本では経験できない多様な文化にも触れることができます。派遣学生には給付率が高く返還義務のないSA奨学金制度も整っています。なお、定員を上回る応募があった場合には経営戦略学科の学生が優先されることがあります。

Monash University

モナシュ大学 (オーストラリア)



ホームステイ

モナシュ大学は、国際色豊かなことでも知られているビクトリア州立の大学で、豪州トップ8大学の一つとして有名です。大学が位置するビクトリア州は緑が多く、州都のメルボルンで洗練した街並みを体験できます。モナシュ大学の英語教育機関では11週間の少人数教育プログラムを受講します。また、無料のワークショップでは文法講座や発音講座が開かれ、語学力強化に役立てられます。

SA 体験



経営学科3年
太田 隆二

私は、オーストラリアのメルボルンにあるモナシュ大学に11週間留学しました。授業はディベートやディスカッションが中心でした。もちろん、授業は全て英語で行われるので、常に英語で物事を考える機会に溢れています。学生も先生もとても親切でフレンドリーな人が多く、安心して過ごせました。また、多国籍の学生達と過ごせるという事もあり、文化の違いや共通点を自然と学ぶことができました。クラス以外でも一緒に課題に取り組んだり、休日には観光に出かけたりもしたクラスメイトとは、帰国後も連絡を取り合っています。

課外活動では、新入生のサポートをするスチューデントリーダーというプログラムに参加し、多様な国籍のメンバーとモナシュカレッジの紹介プレゼンテーションに取り組めました。英語でのコミュニケーションに苦戦したこともありましたが、無事にプレゼンテーションを成功させることができ、大きな自信になりました。また、いつも笑顔で楽しみながら活動できたことも、強く印象に残っています。

ホームステイでは、文化の違いや微妙な英語のニュアンスに戸惑いながらも、ホストマザーとコミュニケーションを取りながら、上手く生活を送っていました。その中で、ネイティブスピーカーを想定した交渉力や説得方法などのスキルも学ぶことができました。

海外で誰かともっと話したい、仲良くなりたいという気持ちが英語学習のモチベーション維持につながります。そのためには、現地で友達を作ることが大切です。メルボルンは優しい人ばかりで、友達はすぐできるはずです。皆さんも是非メルボルンで、そしてモナシュで、彼らと刺激的な毎日を送ってみてはいかがでしょうか。

SAのための 授業

Skills for SA — James Lassegard 教授

The aim of this course is to help students to prepare for their Study Abroad (SA) studies at the University of Nevada (Reno) and at Monash University. Students gain self-confidence in using English as a means of communication and learning while studying useful intercultural and social skills needed for a successful life abroad.



合格者



経営学科4年
横 和樹

恵まれた勉強環境

私は大学1年次より、法政大学の公認会計士試験講座(現、会計専門職講座)に入会し、現役で公認会計士試験合格を達成することができました。このような結果を出すことができたのも、講座の恵まれた環境が関係しています。講座の先輩や後輩との繋がりが、そして同期と共に切磋琢磨して高い目標を目指すという環境が何よりの魅力であり、目標の達成を

支えてくれました。今後は、講座を通して学んできた多くのことを会計士として活用していき、また、講座のOBとして後輩たちにも多くのことを提供していきたいと思っています。

Campus Life

キャンパスライフ



経営戦略学科2年
小澤 晃成

大学では、高校と違い、自分自身の興味関心に応じた履修を組むことができます。私は、入学当初、大まかなイメージしかなく、具体的に学びたい分野が決まっていなかったため、1年次は大学での学びのペースを固めることを目標に、基礎科目を中心に履修しました。また、体育会ラグロス部に所属していることもあり、学業と部活動の両立を意識し、時間割を組みました。

ラグロス部では、日々仲間と共に切磋琢磨し、「学生王者」という目標に向かって練習をしています。最高の先輩・同期に恵まれ、信頼できる仲間ができました。また、授業や練習のない日には、友人と買い物などに出掛けることで、心身ともにリフレッシュし、充実した大学生活を過ごしています。

2年次には、1年次に比べ、さらに経営学の専門的分野を学ぶことができます。自分が何を学びたいのか、また何を学ぶべきか、日々考えながらこの一年間も頑張りたいと考えています。

1年次の時間割とOff Time

	月	火	水	木	金	土
1	東洋史	英語	体育		マクロ経済学	
2	経営学総論	数学、情報を読むために	簿記入門	英語		中国語
3	生命科学					
4	原子から宇宙まで		政治学			
5	入門演習	中国語				
6	アルバイト		部活動	部活動	アルバイト	部活動



3年次の時間割とOff Time

	月	火	水	木	金	土
1			組織行動論			
2		組織経済学		人的資源管理		
3			国際会計論	消費者行動論		
4		演習	グローバル・ガバナンス	English.CEH.		
5		演習				
6	アルバイト		アルバイト		アルバイト	



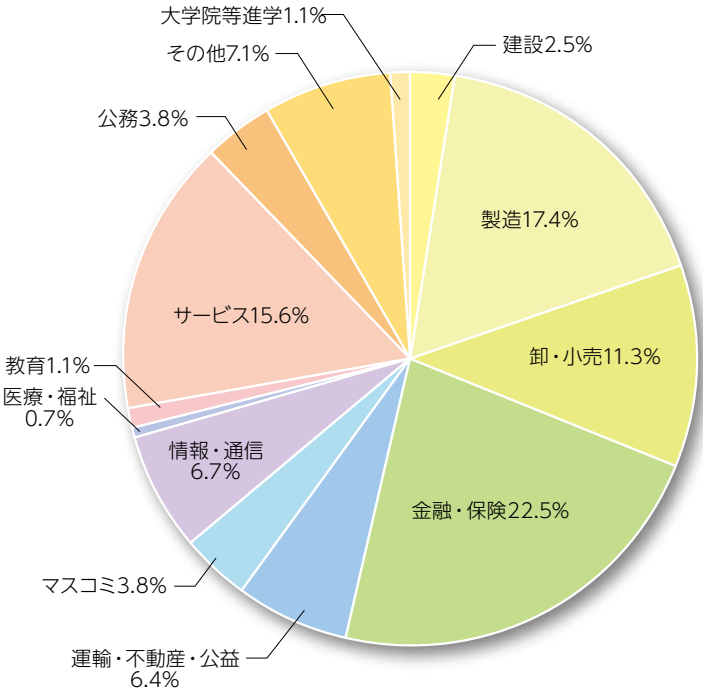
経営学科4年
海老原 希歩

3年次の時間割は、2年次の秋学期に参加した経営学部SAプログラムで身に付けた英語力を維持するために、積極的に語学に関する授業も取り入れたり、「人と組織」に興味があったので、そのようなテーマを扱う授業を履修したり、工夫をしました。また、3年次よりゼミに所属し、ゼミでの活動にも力を注いでいます。

私は情報社会学について学ぶ河内谷ゼミに所属しています。IT関連の知識をつけておくことで、今後の社会の変化にも対応できると考えたからです。SNSや動画サイトなど私たちの身近なテーマ、セキュリティやサイバーテロなど多岐に渡るITの進歩について学んではいますが、想像を超えるIT技術の進化に驚かされます。

3年次の学生生活で大きく変化したことは、授業外の時間が増えたことです。SA帰国後、挑戦できることはなんでもやってみたいと思うようになり、様々なアルバイトやインターン、資格の勉強に取り組み、大学3年生ならではの時間の使い方ができたと自負しています。「挑戦」をモットーに就職活動にも励みたいと思います！

進路・就職先



先輩からの Message



日本銀行
鮫島 沙綾

私は日本と外国のお金の受渡しに関する統計を作成しています。この統計は、日本の金融政策立案に活用され、経済活動に影響を与えています。

在学中に所属していたゼミのテーマは金融経済論でした。経済・金融・経営を読み解く基本的な思考法を、私はこのゼミで身につけました。元銀行員の教授は、様々な経済理論と実践に基づいた経済指標の意味・読み方・分析手法を教え込んでくださいました。

また、各国の金融危機や様々な金融政策が人々の経済活動に与える影響などを学ぶ中、私は人々が安心して暮らすためには経済の安定が不可欠だと深く理解しました。これをきっかけに「経済の安定を根底から支えたい」という強い想いを持つようになり、就職活動ではこの志を軸に活動し、志望していた日本銀行に就職することができました。

経営学部のゼミ活動で学んだ知識と志が、私の大切な財産になりました。

卒業後の進路 (2014年度卒)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 積水ハウス(株) | 日本航空(株) |
| (株)ロッテ | 全日本空輸(株) |
| パナソニック(株) | (株)商船三井 |
| 武田薬品工業(株) | 三井不動産(株) |
| 本田技研工業(株) | 東京ガス(株) |
| 東レ(株) | 日本テレビ放送網(株) |
| 三菱商事(株) | 楽天(株) |
| (株)三越伊勢丹 | (株)みずほフィナンシャルグループ |
| (株)三井住友銀行 | 新日本有限責任(監) |
| 野村證券(株) | 教員 |
| (株)三菱東京UFJ銀行 | 東京国税局 |
| 三井住友海上火災保険(株) | 東京税関 |
| 大和証券(株) | 裁判所事務官 |
| 日本銀行 | 各市区町村 |
| 東京海上日動火災保険(株) | 警察官 |
| (株)ジェーシービー | 消防士 |
| 第一生命保険(株) | 青山学院大学大学院 |
| 損害保険ジャパン日本興亜(株) | 一橋大学大学院 |
| 東日本旅客鉄道(株)(JR東日本) | 法政大学大学院 ほか |



ヤフー株式会社
小野寺 龍一

在学中はファイナンスのゼミに所属していました。大の数字嫌いでしたが、ゼミでの勉強を通して数字嫌いを克服できたと感じています。また、オープンキャンパススタッフとして3年間活動したことも、多くの友人ができていい思い出になっています。

2015年4月でヤフー株式会社に入社して5年目になります。最初の3年間はインターネット広告の営業と他社様との業務提携に携わり、4年目からはM&AやJV設立など資本業務提携の担当としてビジネス開発業務に従事しています。

資本業務提携の仕事では経営学部で学んだことを業務に生かせる機会も多いですが、もっと在学中に勉強しておけばよかったと反省することも多々あります。集中して勉強できるのは大学生の特権ですから、過ごし方は非常に重要だと振り返って感じます。

今後も会社の中長期的な成長に貢献できるように、日々勉強の気持ちを忘れずに邁進していきたいと考えています。

経営学部から大学院へ

法政大学大学院には、経営学を研究する方のために「経営学研究科」があります。詳しくは、ホームページをご覧ください。

(法政大学大学院ホームページ <http://www.hosei.ac.jp/gs/>)

